

総評

5教科合計では標準的な難易度ですが、国語がたいへん易しく、数学が難しいなど、教科間の難易度差が大きい出題となりました。得意教科の難易度が合計点に影響したかもしれません。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは半分の価値しかありません。間違えた問題の直しをして、自分のミスや弱点に気が付き、克服してこそ受けた価値があるのです。また、正解した問題であっても、解説を読んで自分のやり方とはちがう解き方に気付くこともあります。新たな解き方や考え方を身につけ、得意分野をさらに伸ばすこともできます。得点に一喜一憂することなく、目標との差を把握して、弱点の克服や学力の強化に役立ててください。

国語

易しい出題でした。

㊦の漢字の書き「納税」は、「税」の部首を「糸」にしたものが散見されました。入試には、小学校で習った漢字もよく出題されます。忘れずに復習しておきましょう。㊧の読解問題はよくできていますが、問二の文法問題は得点率が低くなりました。間違えた人は教科書で復習しておきましょう。㊨は問一の得点率が低くなりました。前後の文脈から状況を読み取りましょう。全体の内容が読み取れなかった人は、口語訳と対比させながらもう一度読んでみましょう。

全体を通して、誤字脱字、空欄の前後との接続が悪いもの、指定形式のミスが散見されました。得点アップを目指すには、書いた答えをよく見直して惜しいミスをなくすることが大切です。

数学

大問3以降の得点率が予想を下回り、平均点もたいへん低くなりました。

1の問5は $\angle ACB$ の二等分線を作図した解答が多数見られました。垂線の作図のしかたを確認しておきましょう。3の問1と問2は必ず克服しましょう。問2は「平行移動」した直線を実際に図にかき入れてみましょう。4問2は2つの二等辺三角形に着目できれば易しい。入試でもよく出るタイプの問題ですから、間違えた人は条件を図にかき入れてもう一度考えてみましょう。

5は裁量問題を視野に入れた出題で難しかったと思いますが、問1の(1)、問2の(1)はどちらも得点したい問題です。問1の(1)は、見つけやすい代表値を比較して、その値を書けばほぼ正答となります。代表値の意味をしっかりとおさえて、もう一度挑戦してみましょう。

社会

難しい出題でした。

地理分野では、2問2、3問3などの資料を用いた問題や2問5の時差の問題の得点率が低くなりました。地理で資料を用いた問題を苦手としている人は、判別問題であればポイントとなる国や県をもとに判断すること、読みとり問題であれば選択肢と資料を丁寧に見ることを心がけてください。

歴史分野では、4問1の飛鳥時代の政治に関する問題、4問4の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。歴史では、年表を利用して大まかな政治の流れを確認し、重要な語句については、語句を答えるだけではなく、その語句を説明できるようにすることを心がけてください。また、記述問題では、問われていることに沿った解答を作成するようにしましょう。

理科

やや難しい出題でした。

1は基本的な内容の出題です。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習して、基礎固めをしておきましょう。2は実験がやや複雑に感じられたかもしれませんが、気体の性質について基本事項をしっかりと理解できているかがポイントでした。間違えたところが多かった人は、気体について度確認してください。3は一部の得点率が低くなりましたが、基本問題が多くありましたので、全体としてさほど得点率は低くなりませんでした。4は天気の問題でしたが、思考力・計算力が必要とされたこともあり、全体に得点率が低くなりました。5は電流の問題で、前半はよくできていましたが、問3が難しかったようです。直列回路と並列回路について復習しておきましょう。

英語

全体として難しめの出題となりました。得点率の低い問いが多く見られ、比較的難度の低い文法の集合問題でも得点のがびなかったようです。リスニング問題でも、得点できなかった人も多いようです。まだ実戦的な問題演習をあまり行っていないという人もいたでしょうか。今後は、文法の基礎固めをしながら、入試形式の問題を解く練習もしていきましょう。

2A問3(2)は、進行形の-ingの形にして書けるかがポイントでした。スペルミスも目立ちましたので、慎重に解答しましょう。

4問1でも得点率が低くなりました。中2までに学習した文法で解くことができる出題でしたが、文脈や空欄の前後とのつながりをきちんと把握していなければ正答を書けなかったかと思います。復習しておきましょう。